

Little Birds

リトル バーズ

—イラク 戦火の家族たち—

戦争つて、知ってますか？



<http://www.littlebirds.net>

綿井健陽 第一回監督作品 | 日本 / 2005.1 / アラビア語ほか | 撮影・監督: 綿井健陽 | 製作・編集: 安岡卓治 | 企画協力: 小西晴子 | 翻訳: ユセフ・アブ・タリフ、重信メイ、勝元サラール
(日本語字幕) / 35mm / 102分 | 編集助手: 辻井潔 | 製作: 安岡フィルムズ | 配給: Project Little Birds | 配給宣伝協力: バイオタイド

この映像を観てほしい。なにがなんでも観てくれ。
 そしていま一度、自分の頭で、静かに、静かに考えようじゃないか。
 あの戦争とはいったいなんだったのか。いや、そもそもあれは戦争だったのか……。
 あまたあるイラク映像のなかで、私は Little Birds に最もよく心揺さぶられた。

——— 辺見 庸さん
 (作家)

Little Birds

リトル バーズ

—イラク 戦火の家族たち—

二〇〇三年三月のアメリカによるイラク侵攻以来、「ニュースステーション」や「News23」で、精力的にイラクからの中継リポートを続け、「ボーン・上田記念国際記者賞」特別賞を受賞したビデオジャーナリストの綿井健陽(アジアプレス)が、一年半の取材期間で記録した
 一〇二時間の映像から
 一〇二分の映画作品を完成させた。

あなたには、
 リトルバーズ
 小鳥たちの声が聞こえますか？

イラク戦争の間、毎日のようにバグダッドから戦況を伝えてくださった綿井さん。その背後に、これほどの風景が広がっていたとは…。爆撃によって傷ついてゆくイラクの人々のみならず、綿井さんの目は、何も知らされず戦場に送り込まれてくるアメリカ兵の姿をも丹念に追っていきます。問いかげに口ごもる若い兵士の戸惑いの表情に、この戦争のもうひとつの実相が透けて見えます。攻撃する側もされる側も、同じ人間なのだという。どう理由をつけたところで悲惨でしかない戦争というものの不条理。綿井さんの澄んだ映像が、静かに語りかけます。

——— 小宮 悦子さん
 (ニュースキャスター)

魂を売り渡した「ジャーナリスト」たちがはびこる現在、戦争の報告は、妥協やごまかしであふれている。子どもたちの「なぜ」という質問に正面から向き合える作品には、めったにお目にかからない。そうした中でこの作品は、世界でも最初の「イラク戦争報告」だと言える。綿井健陽はジャーナリストとしての自らのアイデンティティを守りきることで、戦争という最も非人道的で過酷な出来事に対峙することができた。作品の中の子どもたちの苦悩と笑顔は、私たちの日本が何を踏みにじってきたのかを教えてくれる。

——— 広河 隆一さん
 (フォトジャーナリスト「DAYS JAPAN」編集長)

Story

戦火のイラク市民に何が起こったのか。そして、今も続く戦火の中で、イラクの人々はどう生きているのか。取材は2003年3月に始まった。空爆前の豊かなバグダッドの日常、子供たちは、朗らかな笑顔をたたえていた。激しい空爆が始まり、惨禍が人々を襲う。老人や女性、そして子供たち…次々と弱いものが大きな犠牲となっていく。バグダッドへの米軍入城の瞬間を捉えた綿井健陽は、その翌日バグダッド市内の病院で凄惨な状況を目撃し、戦火の中で生きる家族たちにカメラを向けた。3人の子供を空爆で失ったアリ・サクハン(当時31歳)は、「戦争で人を殺すために、人間は生まれてきたわけではない…」と語る。米軍の非人道兵器「クラスター爆弾」で右目を負傷した12歳の少女・ハディールや右手を失った15歳の少年・アフマド…、様々な家族を描きながら、戦争の「意味」を、日本と世界に問いかける。



<http://www.littlebirds.net>

綿井健陽 第一回監督作品

日本 / 2005.1 / アラビア語ほか
 (日本語字幕) / 35mm / 102分

撮影・監督: 綿井健陽 製作・編集: 安岡卓治 企画協力: 小西晴子 翻訳: ユセフ・アブ・タリフ、重信メイ、勝元サラール
 編集助手: 辻井潔 製作: 安岡フィルムズ 配給: Project Little Birds 配給宣伝協力: バイオタイド

4月23日(土)より
 新宿 K's cinemaにて
コールドウェイク
 GWロードショー!!



JR新宿駅東南口下車2分
 甲州街道脇 DOCOMOショップ左入る
 ケーズ・シネマ

K's cinema

TEL:03-3352-2471
www.ks-cinema.com

上映時間 10:20/12:30/2:40/4:50/7:00
 特別観賞券 ¥1,500 好評発売中
 当日一般 ¥1,800 | 学生 ¥1,500 | 中・小・シニア ¥1,000
 劇場窓口および都内各プレイガイドにてお求めください。